

課題番号4

基本方針：ⅠⅢ		課題名：意欲のある担い手の農業経営改善	
対象：認定農業者、集落営農組織、加工グループ		計画期間：H30～R2	
		事務所名：中部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R2年度末）	
①認定農業者等の経営改善支援	経営改善資金計画書作成支援 制度資金活用支援 専門家派遣による支援	農業経営改善取組数 9件 → 45件	
②農業の6次産業化による新たなビジネスへの取り組み支援	商品開発技術指導 商品力向上支援 販路開拓のための商談会情報提供	対象加工グループ売上げ合計額 2,490千円 → 3,545千円	

総合評価(コメント)
<p><b>A:3名</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■高齢化で担い手不足のなか的確に目標を達成されており評価されます。</li> <li>■地域が盛り上がり農家の所得が向上することにより、新たな就農者の確保につながることを期待します。</li> <li>■6次産業の成果も良く奈良県農業をリードしていると思います。</li> </ul> <p><b>B:3名</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■発表（特に口頭）が冗長でわかりにくかった。</li> <li>■農業経営の拡大や新規就農者を確保するために、認定農業者への経営改善指導は必要な政策なので続けてほしい。また、6次産業化によるビジネスの支援は、担い手の高齢化対策といえるのか疑問。地域コミュニティで少人数の担い手が加工品を作り販売するのは効率が悪く、売り上げが上がっても利益がでているのか心配。より大きな共同体を作る支援や事業との連携も視野に入れるべきではないかと思う。</li> <li>■残された課題に取り組むことを期待。</li> </ul>

普及指導計画への反映状況等
<p>認定農業者等の経営改善支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■補助事業や制度資金等を活用し、新たな事業を開始した担い手に対して、進捗確認及び技術や経営面のフォローアップを継続して行う。また、農業経営サポート事業により、専門家の利用を推進するとともに、関係機関がチームを組み、経営改善に向けて担い手を指導する。担い手への支援実施後、直ちに成果がでない場合もあるが、所得の向上など、農業経営改善計画や資金利用計画に対しての目標達成状況について、申告書等で確認し、課題の整理を行い、その解決方法について、担い手への指導を行う。</li> </ul> <p>農業の6次産業化による新たなビジネスへの取り組み支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■農産加工組織の売り上げ向上のため、新商品の開発や新規販売先の開拓等に係る支援を継続していく。また、HACCPの取り組みを推進することで、安全な加工品生産を指導していく。今後も新商品の開発や所得向上に意欲ある加工組織に対し、6次産業化プランナーやマーケティングコンサルタント、中小企業診断士などの専門家による経営的な視点からアドバイスを参考にし、所得率の向上や規模・販路の拡大について指導を行うとともに、改善につながるよう補助事業の活用を推進する。</li> </ul>